

休日診療 津山市医師会 検索

小児救急医療電話相談 ☎#8000 土・日・祝18:00~翌8:00、平日19:00~翌8:00

救急医療案内 ☎23-9910

健康 問健康増進課 ☎32-2069

元気な子どもを育てるために

Table with columns: 内容, とき, 時間. Includes 乳児健診, 1歳6カ月健診, 3歳児健診.

ところ 津山すこやか・こどもセンター

離乳食教室

Table with columns: とき, ところ. Includes 1日(木) 10:00~12:00 津山すこやか・こどもセンター

内容 調理実習、試食、説明、個別相談など
対象 7~11カ月児と保護者
定員 10人程度(予約要)
持ってくるもの エプロン、三角巾、親子(母子)健康手帳など
申込先 健康増進課 ☎32-2069



相談

Table with columns: 相談名, とき, ところ, 問い合わせ先. Lists various consultation services like 育児相談, 女性の悩みごと相談, etc.

※10ページのお知らせにも掲載があります

津山の歴史 あ・ま・か・る・と

江戸時代の印鑑

現代の生活で、印鑑はとても大切なものです。その起源は、江戸時代にあるといわれています。江戸時代でも、借金をする時や藩に嘆願書を提出する時など、さまざまな場面で押印が必要でした。

津山藩内で財政改革が進みつつあった享保8年(1723)10月、藩は村を運営するために必要な費用に関する計算書類の整備を図っていました。その中で、「村人全員の印鑑が必要書類などについて、印鑑を押すときはそ



▲江戸時代、ほとんどの印は朱色ではなく、墨色だった



▲紙を継いでいる部分や綴りの綴目に印鑑が押されている場合もある

の書類の趣旨をよく理解し、自分で押すという定めがある。しかし、地区によっては村の人々の印鑑を庄屋が預かり、印鑑の持ち主である村の人々は、書類の趣旨が分からないまま印鑑を押されている事例があるようなので、以後そのようなことがないよう「しなさい」という藩から村への申し渡しがありました。

しかし、享保の改革が頓挫し、その数十年後に行われた宝暦の改革では様子が違います。『津山市史』によると、津山藩は村の庄屋・組頭に対し、村人の内5人の印鑑を持って出頭し、書類に押印するよう申し付けます。その書類とは、財政状況が苦しかった津山藩が、江戸の商人に対して村の建物などを抵当に入れて借金をするための書類だったといわれています。半ば強引に自分の印を押され、建物などを抵当に入れられた村の人々の驚きは、相当なものだったと想像できます。このような印鑑をめぐるさまざまな出来事は、残された古文書を見ただけでは分からない、当時の人々の事情を考えさせる興味深い事例です。

問津山郷土博物館 ☎22-4567

「情報」を募集しています!

Section for '市政へのご意見・広報クイズ' with contact info for Kouhou@city.tsuyama.lg.jp and 32-2152.

Section for 'イラスト・絵手紙' (Illustration/Postcard) with details on how to submit drawings and postcards.

広報クイズ 正解者の中から抽選で5人に当たる!

Section for '今月号の特集' (This month's feature) including '問' (Question), '応募方法' (Application method), '記念品' (Prizes), and '締め切り' (Deadline).

Section for 'イラスト・絵手紙' (Illustration/Postcard) featuring two examples: 'イラスト 絵手紙' by 犬塚 恵子さん (5 years old) and '山県 富美子さん' (Yamaguchi Ritsuko).